

【全体方針】

荒川クリーンエイドを中心に、川ゴミを「調べながら拾い、学び、減らす」取り組みを通して、ゴミのない荒川、自然とともに生きる社会を目指して、以下の方針に基づき活動を推進します。

- 荒川流域で、多様なセクターが連携する荒川クリーンエイドを展開し、さらに広げます。
- 参加者に対する啓発を通して、また、調査データ等の発信を通して、川ゴミの問題や、その解決としての「ゴミをできるだけ生まないライフスタイル」の啓発を推進します。
- 「調べるゴミ拾い」を全国の川に広げ、他の川や海と連携しながら、川ゴミの発生抑制に向かいます。
- その他の環境保全活動については、荒川クリーンエイド実施団体、地域の団体等と連携しながら、側面的な支援に努めます。

1. 荒川クリーンエイドの運営

【事業方針】

荒川水系全体で荒川クリーンエイドを運営する。特に荒川下流部においては、新たな実施地を開拓するなどして活動実施範囲の拡大に努める。

ゴミを拾うだけでなく、参加者が川ゴミの環境負荷や発生原因等について学び、日頃からできるだけゴミを生まない生活を実践するような啓発を更に充実させる。

マラソン大会など、荒川河川敷利用者へのコミュニケーションの機会を設けることにより、流域市民・河川敷利用者への啓発活動を進め、ゴミが捨てられない機運をつくっていく。

上記により、荒川のゴミを減らす機能の強化に努める。

【主な計画事項】

① 調べるゴミ拾い

2014 年度も、散乱ゴミ、粗大ゴミについて調べるゴミ拾いを実施する。新たな団体の誘致、新たな実施地の開拓に努める。

② 説明会・体験会の開催

9 月に説明会、4, 9, 10 月に体験会を開催し、特に、初めて実施する団体、キャプテンや担当者が交代する団体などには必ず参加いただくよう依頼し、運営方針や実施方法の周知を図る。

③ 主催・共催会場の運営

全国ネットワークのある団体や、若者団体、河川敷利用団体等と連携して主催・共催会場を運営する。

④ 実施サポート

実施団体の要望に応じて、活動実施のサポートを行う。

⑤ 「ゴミをできるだけ生まないライフスタイル」の啓発 ～紙芝居^{<new>}、マイボトル de ゴミ拾い。～
川ゴミの自然環境への影響や、ゴミをできるだけ生まないライフスタイルについて考える機会を提供することを目的に、ゴミ拾い後のふりかえり時などに活用できる「紙芝居」を制作し、希望団体へ貸出する。
「マイボトル de ゴミ拾い。」キャンペーンに取り組み、マイボトルの持参を呼びかける（ペットボトル調査は昨年度までで終了とする）。

⑥ 河川敷利用者への啓発

マラソン団体、サイクリング団体等と連携し、イベント会場でのクリーンエイドの実施、啓発資料の配布

など、荒川河川敷利用者への啓発を進める。

2. 生物多様性の保全

【事業方針】

里川創造プロジェクトについては、国土交通省の「荒川下流自然地管理アダプト制度」の下、荒川クリーンエイドを中心に、楽しみ、学びながら都市の自然を守ることを目指し、他の市民団体、学校、企業等と連携して自然地の環境保全と普及啓発を進める。

絶滅危惧種の復活プロジェクトは、地域団体への側面的な支援の形で事業を継続する。

【主な計画事項】

① 里川創造プロジェクト

江戸川区小松川自然地において、「里川小松川自然地協議会」の構成団体として、地域の団体や企業と協働し、荒川クリーンエイド、外来種の除草、モニタリング、自然環境教室など、自然地の環境保全とその普及啓発を推進する。

足立区千住桜木地区においても、荒川下流自然地管理アダプト契約を結び、クリーンエイド活動を中心に、環境保全を進める。また、その他の地域についても、荒川クリーンエイド実施団体の要望に応じて、外来種の除草等の支援を行う。

② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷のヒメマイトトンボ生息地において、地域団体を中心となる保全活動、及びモニタリングへの側面的な支援を行う。

3. 環境教育の推進

【事業方針】

荒川クリーンエイド実施団体や地域の団体と連携しながら、人々が川ゴミの問題について学び、環境保全意識を高めるよう、荒川をフィールドとした環境教育を推進する。

人材育成プログラムについては、若者層への啓発の機会として、新入社員研修を中心に、積極的に推進する。また、社会性向上・環境研修として、様々な対象への応用にも取り組む。

【主な計画事項】

① 学校教育の支援

地域の団体等と連携しながら、学校が実施する荒川クリーンエイドを支援する。

② 人材育成プログラムの実施

チームビルディングを体験しながら川ゴミの環境負荷について学ぶ「環境に悪いゴミ拾いゲーム」を中心に、プログラムをブラッシュアップしながら実施する。

③ 自然環境教室の支援と開催

里川創造プロジェクトの一環として、市民が参加できる自然環境教室を開催する。また、クリーンエイド実施サポートの一環として、自然環境教室の支援を行う。

4. 水質調査の実施

【事業方針】

身近な水環境をモニタリングし、水環境への関心を高めることを目的に、6月の「身近な水環境の全

国一斉調査」に参加する。

【主な計画事項】

① 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

荒川本川、及びその支川、また、流域各地の川や池などでの調査を募集し、調査結果を取りまとめ、全国水環境マップ実行委員会に提出する。調査項目は温度と COD（低濃度）とする。また、同実行委員会に参加し、調査活動の展開や運営について検討を行う。

5. 流域連携

【事業方針】

荒川流域内の交流と、流域の課題の共有を目的に、源流域、中流域、及び下流域の団体と連携した活動を推進する。

【主な計画事項】

① 荒川源流エコツアーの実施

荒川源流部の恩恵を受けている下流市民が、源流の自然を楽しみながら源流の問題を共有できるようなエコツアーを企画し、参加者を募り実施する。主な対象や目的などを再検討し、企画を見直す。

② 荒川流域再生プロジェクトへの参加

NPO 法人荒川流域ネットワークを中心に開催する「荒川流域再生シンポジウム」を共催する。また、同 NPO 法人が中心に推進する荒川流域再生プロジェクトの活動のうち、夏休みに実施する「地引網体験会」を共催し、流域連携による「魚の行き交う川作り」に貢献する。

③ 埼玉県河川環境団体連絡協議会や川の再生交流会への参加

埼玉県内の河川団体が加盟する埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼河連）や埼玉県主催川の再生交流会に参加し、引き続き連携を図る。

④ 荒川自然懇談会を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム役員が多数参加する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で行っている「荒川自然懇談会」を官民協働の場とし、荒川の自然の回復に向けた協議を行う。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

【事業方針】

全国の川や海とつながって川ゴミ問題の解決、発生抑制に取り組むことを目指して、「調べるゴミ拾い」を全国の河川に広げるべく、川ゴミ拾いの全国ネットワーク構築を本格的に推進する。また、業界団体等と連携した、ゴミの発生抑制に向けた啓発の取り組みも視野に入れる。

【主な計画事項】

① 全国の河川との連携 ～全国川ごみネットワーク～

「調べるゴミ拾い」の全国展開を目指し、他河川でゴミ拾い活動に取り組んでいる主な団体との連携を本格的に推進する。第1回川ごみサミットを開催する。

② 海ゴミとの連携 ～一般社団法人 JEAN との連携～

世界の海洋ゴミ調査と世界の海ゴミ問題の解決に貢献すべく、荒川クリーンエイドのゴミ調査結果を JEAN に提供する。

7. 広報・情報発信

【方針】

各種情報媒体を活用し、主に次の目的で広報・情報発信活動を展開する。

- ・荒川クリーンエイドへの参加者・賛同者を増やす
- ・会員・関係者間のコミュニケーションを促進し、情報や運営方針の共有を図る。
- ・川ゴミの発生抑制を目指し、調査データ等を活用した情報発信を行う。

【主な計画事項】

① ホームページ

最新情報や各詳細コンテンツの充実を図るとともに、見やすいページ作りに努める。

更新しやすいシステムを採用するなど一部リニューアルする。

② ニュースレター

テーマ性を重視しながら、会員や関係者との情報共有を図るべく、年2回発行する。

③ Eメールニュース（メールマガジン）

毎月1回の配信を継続する。

④ 報告集

ゴミの調査データや活動の成果を集約した報告集を発行する。会員・関係者間の意識の共有を促進するような内容と、よりコンパクトでわかりやすい体裁を更に検討する。

⑤ ポスター、リーフレット

実施団体が秋のクリーンエイド参加者を募集する支援として作成、配布する。

⑥ フライヤー

荒川のゴミの現状や荒川クリーンエイドについて知ってもらう、ゴミを捨てない啓発等を目的に、フライヤーを作成し、荒川河川敷やイベント会場で配布する。

⑦ ソーシャルメディア

Facebookを活用してタイムリーな話題を提供し、荒川クリーンエイドや川ゴミ問題への関心を高める。

⑧ イベント出展

環境やボランティアに係るイベントに出展する。荒川クリーンエイドへの参加の促進、川ゴミの発生抑制につながるよう、イベントごとにターゲットやテーマを吟味し、効果的に情報発信を行う。

また、荒川クリーンエイド実施団体や地域の団体等が、イベント出展において、荒川クリーンエイドや川ゴミ問題について効果的に情報発信できるよう、パネルの貸し出し等の支援を行う。

9. 組織運営

【方針】

報告会及び連絡会を通じて、会員等とのコミュニケーションを活性化し、また、理事・運営委員会を通じて、より円滑な組織運営を図る。

【主な計画事項】

○報告会の開催

活動の成果について会員・関係者等と共有する、報告会を開催する。

○連絡会の開催

活動における課題と次年度の運営について会員・関係者等と共有する、連絡会を開催する。

○理事・運営委員会の開催

総会議案、人事等について協議決定するため理事会を開催する。

事業を円滑に進めるため、運営委員会を随時開催する。

○事務局体制の強化

年度当初は、2名の専従職員と2名の非常勤職員により運営するが、今年度より欠員となった非常勤職員の補充として1名を採用募集することを念頭に、事務局体制の強化を図る。

○ファンドレイジング（資金調達）

自主事業を積極的に進め、自主財源基盤の強化に努める。

2014 年度活動計画の概要一覧(案)

事業	活動名	概要、日程等
1 荒川クリーンエイド の運営	荒川クリーンエイド 2014	2014 年 4～12 月
	荒川クリーンエイド 2015	2015 年 1～3 月
	説明会・体験会	8 月 30 (土) 説明会・体験会 (足立区生涯学習センターを予定) 4 月 13 日 (日)、10 月 13 日 (祝) 体験会 (江戸川区 下平井水辺の楽校)
	主催・共催会場の運営	4 月 13 日、10 月 13 日江戸川区下平井水辺の楽校 4 月 26 日 (土) 板橋区戸田橋陸上競技場 6 月 29 日 (日) 葛飾区新四ツ木橋周辺 9 月 20 日 (土) 葛飾区新四ツ木橋下流
	啓発	紙芝居を 8 月に作成予定 他
2 生物多様性の保全	里川創造プロジェクト	里川小松川自然地協議会の一員として活動
	絶滅危惧種の復活プロジェクト	足立区の活動に協力
3 環境教育	学校教育の支援	小松川自然地での支援を中心に実施
	人材育成プログラムの実施	4,5 月に新入社員研修実施、プログラム開発は通年
	自然環境教室の支援と開催	クリーンエイドの後に、または独自開催
4 水質調査	身近な水環境の全国一斉調査	6 月 8 日 (日) を中心に一斉調査
5 流域連携	荒川源流エコツアー	9 月 6 日 (土) ～7 日 (日) (予定)
	荒川流域再生プロジェクト	地引網体験会 (7 月予定)、シンポジウム (2 月予定)
	埼玉川の再生交流会	埼玉県主催イベントに参加 (2 月頃予定)
	荒川自然懇談会	随時参加
6 他セクターや全国・世 界とつながる活動	全国川ごみネットワーク	実行委員会の開催 (予定) 川ごみサミット開催 (1 月頃予定)
	一般社団法人 JEAN との連携	荒川クリーンエイドのデータを提供
7 広報・情報発信	ホームページ、Facebook	随時更新
	E メールニュース (メールマガジン)	月 1 回、計 12 回の発行を予定
	ニュースレター	8,1 月に発行予定
	報告集	2 月に発行予定
	ポスター・リーフレット	8 月に作成予定
	啓発フライヤー	8 月に作成予定
	イベント出展	6 月 7 日江戸川区環境フェア、その他
8 運 営	第 15 回定期総会	5 月 17 日 (土) 足立区生涯学習センター
	報告会	2 月上旬に開催予定 (会場未定)
	連絡会	2 月上旬に開催予定 (会場未定)
	理事会・運営委員会	随時開催

以上